

文化財保護の 現在と未来

静岡県内の取り組みから

1995年の阪神淡路大震災や2004年の新潟県中越地震は、家屋やライフラインばかりでなく、文化財にも多大な被害をもたらし、その反省から、博物館における危機管理やコレクションマネジメントの重要性が提起されています。

また同時に、ボランティアやNPOによる活動など、市民の手によって文化財を保護する動きも活発化しています。

特に静岡県では、東海大地震の発生が想定されているため、災害を前提として、人類共有の財産である文化財の保護策を講じていく必要性がますます高まっています。

そこで今回は、地域の身近な文化財をどのように守り、また地域文化の向上のためにどのように役立てていけばいいのか、静岡県内の事例を通して、その意義と課題を考えてみたいと思います。

2009.3.14[土]
14:00～16:30

参加無料!

プログラム

[趣旨説明]

金子 淳 (静岡大学生涯学習教育研究センター准教授)

[報告]

①「静岡県博物館協会における災害対策への取り組み」

飯田 真氏 (静岡県立美術館学芸課長)

②「静岡県の自治体史編纂事業の現状と課題」

本多隆成氏 (放送大学静岡学習センター所長・静岡大学名誉教授)

③「文化財の災害ボランティア活動」

山口聡太郎氏 (NPO文化財を守る会代表)

[コーディネーター]

高松良幸氏 (静岡大学情報学部教授)

参加費

無料

定員

50人

主催・問い合わせ

静岡大学生涯学習教育研究センター

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL&FAX : 054-238-4817 e-mail : LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

共催 / 静岡大学キャンパスミュージアム

後援 / 静岡県博物館協会・静岡県文化財保存協会・伊豆屋伝八文化振興財団

申し込み方法

FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。

[FAX] 054-238-4817

[メール] LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

[葉書] 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学生涯学習教育研究センター宛て

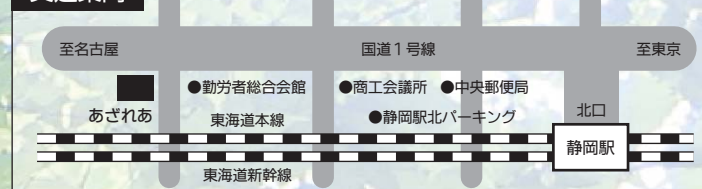
※いずれの場合も、住所、氏名、電話番号、講座名を明記してください。

会場

静岡県男女共同参画センターあざれあ 第1研修室

〒422-8063 静岡県静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

交通案内



JR静岡駅北口を出て左手の郵便局をまがり、国道1号沿いに西へまっすぐ、徒歩9分